

IoT推進コンソーシアム概要

3

- IoT／ビッグデータ／人工知能時代に対応し、企業・業種の枠を超えて産学官で利活用を促進するため、民主導の組織として「IoT推進コンソーシアム」を設立。（平成27年10月23日（金）に設立総会を開催。）
- 技術開発、利活用、政策課題の解決に向けた提言等を実施。

総会

- 会長
- 副会長

運営委員会（15名）

会長

村井 純 慶應義塾大学 環境情報学部長兼教授

副会長

鵜浦 博夫 日本電信電話株式会社 代表取締役社長
中西 宏明 株式会社日立製作所 執行役会長兼CEO

運営委員会メンバー

委員長 村井 純 慶應義塾大学 環境情報学部長兼教授

大久保 秀之
越塚 登
小柴 満信
齊藤 裕
坂内 正夫
志賀 俊之
篠原 弘道

三菱電機株式会社 代表執行役
東京大学大学院 教授
JSR株式会社 社長
株式会社日立製作所 副社長
情報通信研究機構 理事長
産業革新機構 会長(CEO)
日本電信電話株式会社 副社長

須藤 修 東京大学大学院 教授
堂元 光 日本放送協会 副会長
徳田 英幸 慶應義塾大学大学院 教授
野原 佐和子 イプシ・マーケティング研究所 社長
程 近智 アクセンチュア株式会社 会長
林 いづみ 弁護士
松尾 豊 東京大学 准教授

技術開発WG

（スマートIoT推進フォーラム）

ネットワーク等のIoT関連技術の開発・実証、標準化等

（12月4日 第1回会合を開催）

先進的モデル事業推進WG

（IoT推進ラボ）

先進的なモデル事業の創出、規制改革等の環境整備

協力

IoT セキュリティWG

IoT機器のネット接続に関するガイドラインの検討等

協力

データ流通 促進WG

データ流通のニーズの高い分野の課題検討等

総務省、経済産業省 等

脳情報による無意識での価値判断を活用した 評価手法の研究開発

総務省 情報通信国際戦略局
平成28年2月17日

【28当初】 NICT運営交付金270.3億円 の内数（新規）

主な政府の方針:

科学技術イノベーション

総合戦略2015

脳情報を元に潜在的
ニーズの探索を可能に
するため、脳活動の計
測技術の先駆的研究開

概 要:

- 製品・サービス等に対する無意識での価値判断等に応じた脳活動情報を抽出・推定し、人の感性を脳活動から客観的に評価する脳情報通信技術の研究開発
- 脳活動計測を通じユーザーの無意識での価値判断等を考慮した製品・サービス等の客観的な評価手法の研究開発
- 無意識での価値判断等に応じて現れる脳活動等の可視化技術等の開発

目 標:

- 製品やサービス及びそれに関連するCM等に関わる脳情報を計測し、製品・サービスの印象評価や製品等の改善時の印象の変化など評価分析手法に関わる基礎技術を構築する。

【平成28年度研究開発内容】 1) CMデータに関する評価実験

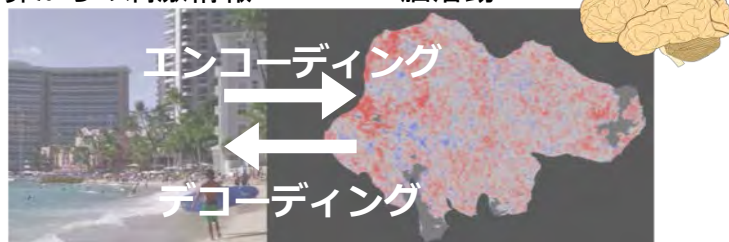
脳情報による無
意識下の価値判
断を抽出するた
めの課題

1) 外界からの刺激
と脳活動の対応関
係をモデル化

2) モデル化するた
めの多様な観点
を捉えたデータの蓄
積

外界からの刺激情報

脳活動



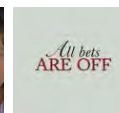
自然言語モデルを介した脳活動解読

被験者が
見ていた
動画

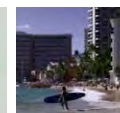


女性,男性
髪
着る,着ける
被る
若い,鋭い
短い

名詞 動詞 形容詞

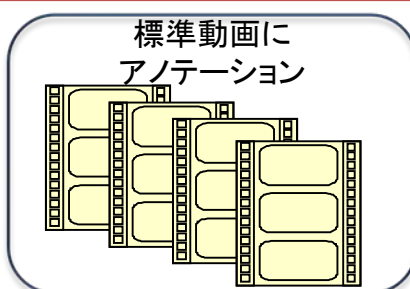


文字,ラテン
アルファベット
咲く,読める
書く
黄色い,白い
美しい



海, 広大
一帯
眺める, 囲む
面す
深い, 数多い
狭い

2) アノテーションデータ※の増強



※ アノテーションデータとは評価動画に含まれる各要素をタグ付けしたもの